既存木造住宅の耐震診断を容易に

一般診断法対応の耐震診断ソフト

ハウテック

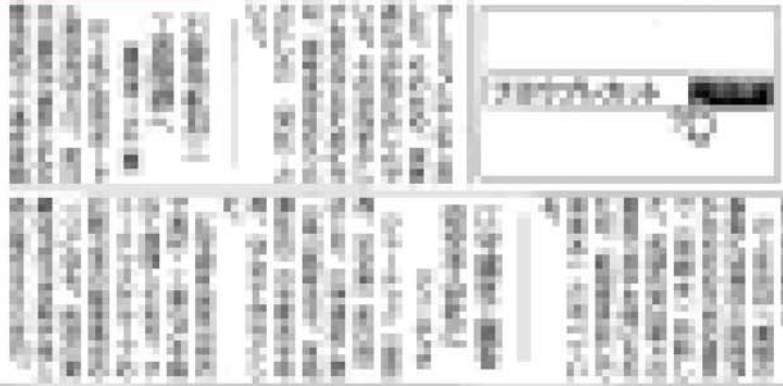
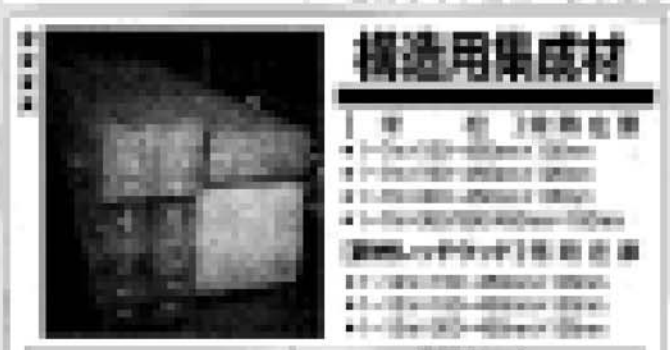
ハウテック（福岡市、吉川彰社長）は、日本建築防災協会がまとめた「木造住宅の耐震診断と補強方法」（国土交通省住宅局建築指導課監修）の「一般診断法」に対応した耐震診断ソフト「耐震チェッカー」の販売を開始した。同ソフトは既存木造住宅を対象に開発されたもので、マウス操作等で間取りを入力し壁耐力等を設定すれば、自動で現状の耐震性能のチェックや補強計画、また補強数量の拾い出しができる。また、耐震診断書を自動作成し印刷できるため、昨今関心が高まっている耐震改修工事の助成金制度申請や、3D耐震シミュレーション機能と合わせた耐震リフォーム提案などに活用できる。

同社は新築住宅向け構造計算ソフト（ハウストラ）を既にリリースしており、今後は総合的に木造住宅の耐震設計をサポートできるようになった。

耐震チェッカーは、間取りやプラン条件を設定するだけで、「一般診断法」に基づいた耐震診断を自動で行い、総合評点結果を表示する。診断結果は一覧表によって確認でき、どの部分に問題が生じているかを一目で確認することが可能だ。筋違の設置や壁の追加、耐力要素の設定や金物の追加、基礎の補強など、的確な補強設計及び計画を行える。

また、現況の診断結果と耐震リフォーム等の補強計画を耐震診断書として作成。この診断書は各種優遇制度や助成金の申請に活用できるが、リフォームを検討している施主への提案資料としても有効になると見込んでいる。

例えばキッチン等の住設機器入れ替え時や小規模増築時に、壁や柱金物を高耐力のものに変更するだけで耐震性能は向上するが、同ソフトではこういった変更にも即座に対応し診断結果を出すことが可能だ。

ほかにも、耐震診断書を活用したリフォーム提案の際に現況や改修例などの画像を張り付けられる機能、柱金物N値計算による接合部の検定、また同社主力ソフトの総合建築CAD「B－MOS／ビーモス」、無料でダウンロードできる3D設計ソフト「せっけい倶楽部」とは、もちろん連携する。

日本住宅・木材技術センターのプログラム認定を受けた木造軸組工法の許容応力度構造計算ソフト（ハウス